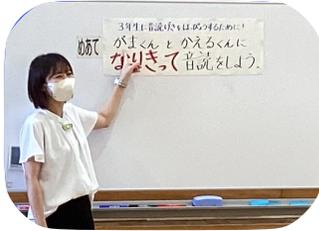


「3年生に音読げきをはっぴょうするために！」

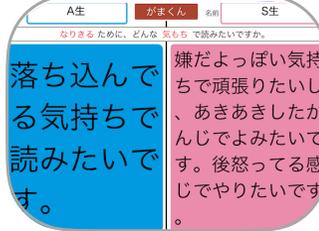
がまくんとかえるくんになりきって音読をしよう

東春近小学校の2年生は、3年生に「お手紙」の音読劇を発表しようと考えました。そこで、がまくんとかえるくんの音読劇で登場人物のセリフや読み方や動きを工夫しながら録画しました。

子どもたちはその時の思いや考えをスクールタクトを使って伝え合いました。この学習活動を通して、登場人物や行動を具体的に想像して表現することができるようになっていきます。



①子どもたちは前時までに登場人物の思いや考えをスクールタクトに書き録画しています。本時はグループ交流を行なって友だちから意見をもらいます。



②登場人物になりきるためのポイントとしてS生は「場面や気持ちにあった読み方や体や顔の動き」を意識しました。子どもたちは自分の考えをグループや全体で共有しています。



③子どもたちは二手に分かれて他のグループと交流し、録画を見せチェックカードに記入してもらいます。その時の意見を自分のグループに持ち帰りさらに工夫をします。



④チェックカードに書かれたことに対してさらに質問をしています。「声は？」「体の動きは？」と聞くうちに「悲しい感じで待っているのがいい。」といった登場人物の心情にせまるような言葉が出てきました。



⑤自分のグループに戻って他のグループからのアドバイスを共有します。さらにどのようにしたら、より良いものになるかを検討して、再度録画をするために相談をしました。



今日は、声の大きさが、凄く上手くいったと思いました。どうしてかという、目当ての嫌だ感が達成したからです。目当てが達成して嬉しかったです今日は、体の動きも、凄く良かったと思います。明るさも、良かったと思います。山読みも、良かったと思います。後は、間をとるだけです。間を取れるように頑張ります。き

※赤字、赤線は推進センターにて書き込みました。

⑥振り返りです。最初S生は目当てが達成できたとA評価にしました。その後、なりきりポイントを何度も確認しました。文章に「間をとる」と書き込んだ後、B評価に変更していました。

東春近小学校 2年生 宮坂彩音 先生の授業をもとに公開研究会への問題提起として、推進センターで編集しました。

授業者から

(宮坂彩音 先生 東春近小学校 2年西組)



単元：「お手紙」（教材と授業場面については各校で共有してください。）
習得してほしい力国語の力は、思考判断表現の「場面の様子に着目して具体的にお話を想像する・表現することができる」です。
登場するのががまくんとかえるくんです。子どもたちが、がまくんがいう「あきあきたよ。」という言い方について「飽きたよ、嫌なんだよ」という表現ができたら良いと考えました。今回は音読劇をするという言語活動を通して学習を進めています。

「ICTを活用する価値」としては、iPadに映像を記録することによって、読み方などを容易に比較したり検討したりする手助けになっています。感想や振り返りを記述する場面では、「何を書いたらいいかわからない」という子どもたちが、友だちの記述や別ページの記述を参考にして書き進めることができました。（スクールタクトの「グループ機能」を活用）

注目してほしい場面は、子どもたちが自分たちの考えを言葉にする場面で「なりきりチェックカード」を使ったことです。また、振り返りの場面でそれまでの自分の記述や友だちの記述を見返ししながら考えを再構築している場面です。教えてほしいことは子どもたちの姿から、どのような評価をするかを具体的に教えていただけるとありがたいです。

講師の先生からの課題提起

(森下孟 先生 信州大学教育学部)



公開授業をもとに森下先生からの課題提起です。ビデオを視聴した上で、当日の研究会にご参加ください。また、課題に対して、各学校ごとに、事前に考えを集約していただきたいと思っています。

当日は、各学校からの発表をいただきながら、公開研究会を進めていきたいと計画しています。

研究討論のポイント

- ・思考・判断・表現のツールとして、ICT活用の可能性を感じることができたか？
 - 自己を客観的に捉えるための工夫（メタ認知）による省察効果
 - 音読劇を通じた言語表現から他教科（表現など）への可能性
- ・基礎的・基本的な指導力のうえに立つICT活用
 - グループワークを児童主体で働かせるために、教師はどのような指示や発問などが適切であったのか？
 - 児童の何を観察しどのように育ててほしいと願い、授業のなかにICT機器を取り入れることができたのか？

伊那市情報委員会によるICT Conference2023 公開授業

伊那市の情報委員（小学校部会）の先生方が参加していただきICTカンファレンスの公開授業が行われました。先生方の授業記録をスクールタクトで共有し学び合いました。

友だちからの評価を受ける際のワークシートは、評価の仕方が簡単で子どもたちにはやりやすいのだと感じました。また、アドバイスの仕方が具体的で、日頃からの「めあて」を意識した指導がされていると思いました。チェックカードは撮影の際とても役立っていてそれを見ながら撮っていました。先生の声かけや関わりなど、子どもとの関係がとてもよく、子どもたちは安心して取り組めたと思います。（参加者からの感想の抜粋）